

## 施設周辺環境測定（ダイオキシン類濃度）年度比較

### 1. 大気測定

単位：pg-TEQ/m<sup>3</sup>

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31(令和元)年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
北西	0.027	0.012	0.011	0.009	0.014	0.015	0.013	0.010	0.007	0.011	0.008	0.009	0.010
北東	0.026	0.017	0.013	0.010	0.015	0.019	0.022	0.013	0.008	0.016	0.017	0.010	0.008
南東	0.030	0.011	0.013	0.010	0.017	0.016	0.014	0.012	0.009	0.014	0.009	0.010	0.007
南西	0.023	0.016	0.009	0.010	0.013	0.014	0.012	0.010	0.008	0.012	0.007	0.007	0.007

(環境基準値：0.6pg-TEQ/m<sup>3</sup>以下)

### 2. 土壌測定

#### ①標準

単位：pg-TEQ/g-dry

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31(令和元)年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
北西	16.0	16.0	14.0	13.0	26.0	20.0	15.0	14.0	20.0	7.9	25.0	29.0	25.0
北東	7.6	7.6	6.3	5.9	8.3	7.8	7.7	8.9	9.3	7.0	12.0	11.0	13.0
南東	18.0	2.3	24.0	9.2	16.0	7.6	14.0	15.0	58.0	5.9	4.5	4.9	27.0
南西	110.0	58.0	64.0	68.0	65.0	47.0	57.0	66.0	47.0	60.0	53.0	39.0	52.0

(環境基準値：1,000pg-TEQ/g-dry以下)

#### ②農薬系ダイオキシン類を除いたもの

単位：pg-TEQ/g-dry

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31(令和元)年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
北西	3.6	3.2	4.7	4.1	4.9	4.0	3.3	3.4	6.5	4.2	6.6	6.8	7.1
北東	3.1	5.2	3.8	3.2	4.5	4.6	3.6	3.8	5.3	3.7	6.7	4.4	7.3
南東	7.0	1.5	18.4	6.1	13.7	5.7	11.6	12.0	54.6	3.3	2.5	2.5	22.8
南西	15.5	12.6	14.5	12.4	12.0	10.4	11.6	12.9	9.4	12.0	10.3	8.5	10.9

(環境基準値：1,000pg-TEQ/g-dry以下)

※農薬系ダイオキシン類を除いたものとは

日本国内の環境中におけるダイオキシン類の汚染は、燃焼の他に、過去（1960年代から1990年代まで）に水田の除草剤として使用されていたPCPやCNP等に由来するものといわれている。

分析測定においては、それぞれの同族体組成の特徴により寄与率を推算することができることから、実測濃度（標準）での測定と汚染源別（異性体別）による詳細な測定を行い、農薬系由来によるものを除いた燃焼系由来とされるものが②の表となっている。